

417) 別れの花

あの娘と別れが哀しくて	肩よせ合ってひとつ傘
雨にうたれて歩いた日	角の花屋の店先に
白百合の花咲いていた	涙こらえたあの時の
別れの花は白い花	別れの花は匂う花
ふたり暮らしたマンションの	愛の思い出こわれた日
^{たそがれ} 黄昏てゆく街角に	くちなしの花咲いていた
今日も咲いてるこの花に	昔の日々がよみがえる
別れの花は白い花	別れの花は匂う花
^{とき} 歳月は流れて ^{とも} 親友が ^ゆ 逝き	初めて知ったはかなさは
酒の相手を失った	言いようのない空しさよ
親友の写真を包むよに	白菊の花咲いていた
別れの花は白い花	別れの花は匂う花
人の心に ^{けが} 汚れなく	美しきとき白く咲き
人の心に奥深く	花は香りて刻まれる
人と別れの哀しみを	言葉にかえて今日も咲く
別れの花は白い花	別れの花は匂う花
別れの花は白い花	そしてかすかに匂う花
別れの花は白い花	そして心に残る花